

企業ねんきん

基金だより

No.13

2022.9

CONTENTS

- 2 理事長就任のご挨拶
- 3 令和3年度基金決算のお知らせ／
財政検証について
- 4 当基金の資産運用結果のお知らせ
- 6 ホームページをご活用ください／
当基金の業務概況／当基金の現況



「新潟県・当間高原のコスモスの花畑」

西日本電気工事企業年金基金

理事長就任のご挨拶

秋晴の候、西日本電気工事企業年金基金の加入者の皆さまには、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素は当基金の運営にご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、本年 7 月の第 3 期役員改選におきまして、西日本電気工事企業年金基金の理事長に就任いたしましたので、ご挨拶申し上げます。

さて、私たちを取り巻く社会は様々な情勢変化が起こっています。新型コロナウイルス変異株の度重なる感染拡大により活動が制限され、事業活動はもとより、生活や働き方にも大きな影響を与えました。また、ロシアのウクライナ侵攻により、食料やエネルギー価格が上昇し、貿易やサプライチェーンの混乱などにより世界的にインフレが加速しています。近年の著しく変化する社会情勢は、将来への不安感を増大させています。

このような状況において、老後の安心を支える企業年金の役割はますます重要となっています。また、高齢期の働き方・生き方も多様化し、それを支える経済基盤の安定はこれまで以上に重要な課題となりますが、その柱となる公的年金は少子高齢の進展によりそのスリム化が避けられないと思われ、企業年金の存在はますます欠かせないものとなっています。

当基金は給付を約束した確定給付企業年金で、加入者にとって大変メリットの大きい制度です。加入者は掛金の負担無く、年金または一時金を受けることができます。

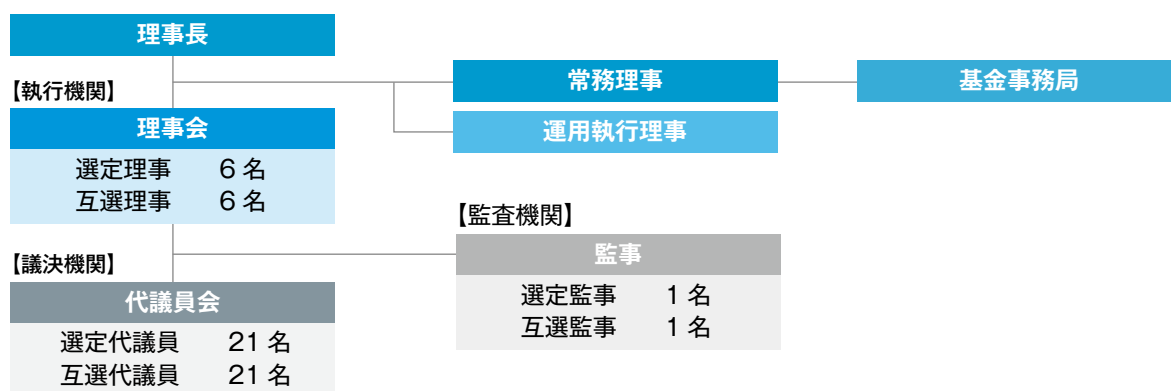
これからも加入者の皆さまの老後の所得保障の充実と福祉の向上を目的に、リスクを抑えた効率的資産運用を行い、健全な財政運営により長期的・安定的な制度運営が継続できるよう努めてまいります。

今後とも皆さまの変わらぬご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

西日本電気工事企業年金基金
理事長 安藤 一彦

当基金の運営組織

令和 4 年 7 月に代議員改選が実施され、新たに第 3 期の理事長・理事・監事・代議員が選出されました。当基金の運営組織は、以下のとおりです。



代議員会 (定数 42 名)	規約の変更や財政運営、事業計画などの重要事項を審議・決定する議決機関。加入者（従業員）のなかで互選する「互選代議員」と事業者が選定する「選定代議員」で構成されています。任期は 3 年。
理事会 (定数 12 名)	事業運営の具体的な方針を立てる執行機関。互選代議員、選定代議員のなかから選ばれます。任期は 3 年。なお、理事長は代表者として基金運営を総括し、常務理事は通常業務全般を遂行します。
監事 (定数 2 名)	事業主、加入者から選ばれた代表により、基金運営が適正に行われているかを監査します。

令和3年度 基金決算のお知らせ

7月28日に開催されました第14回代議員会において、当基金の令和3年度の決算及び財政検証結果が承認されましたので、その概要をお知らせいたします。

なお、年金経理、業務経理ともに公認会計士によるAUP（合意された手続業務の確認・報告）を実施したうえで、監事監査にて業務の適正な処理と法令・財務会計規程に準拠していることが認められています。

年金経理

年金・一時金の支払いや、その財源となる資産の積立状況をみる会計です。

■貸借対照表

令和4年3月31日現在

(単位 万円)

資産勘定		負債勘定	
科目	決算額	科目	決算額
1. 純資産			
固定資産	277,987	流動負債	0
(信託資産)	(277,987)	支払備金	2,711
流動資産	3,902	(未払給付費)	(2,711)
(未収掛金)	(3,902)	(未払移換金)	(0)
計	281,889	計	2,711
2. 負債			
		責任準備金	257,546
		計	257,546
3. 基本金			
繰越不足金	0	別途積立金	21,632
当年度不足金	0	当年度剰余金	0
計	0	計	21,632
総合計	281,889	総合計	281,889

■損益計算書

自 令和3年3月1日 至 令和4年3月31日

(単位 万円)

費用勘定		収益勘定	
科目	決算額	科目	決算額
1. 経常収支			
給付費	19,929	掛金等収入	23,478
移換金	99	運用収益	4,964
運用報酬等	1,165		
業務委託費等	2,243		
運用損失	0		
計	23,436	計	28,442
2. 特別収支			
		特別収入	6
		計	6
3. 負債の変動			
責任準備金増加額	0	責任準備金減少額	16,620
計	0		
4. 基本金			
別途積立金増加額	21,632	当年度不足金	0
当年度剰余金	0		
計	21,632	計	0
総合計	45,068	総合計	45,068

業務経理・業務会計

基金の事業運営に必要な経費を処理する会計です。

■貸借対照表

令和4年3月31日現在

(単位 万円)

資産勘定		負債勘定	
科目	決算額	科目	決算額
固定資産	42	流動負債	214
流動資産	4,983	基本金	4,811
当年度不足金	0		
計	5,025	計	5,025

■損益計算書

自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日

(単位 万円)

費用勘定		収益勘定	
科目	決算額	科目	決算額
事務費	2,495	掛金収入	3,261
代議員会費	12		
業務委託費等	66		
雑支出	32		
当年度剰余金	656		
計	3,261	計	3,261

基金では財政検証を実施しています

基金では、加入者・受給（権）者の皆さまの受給権保護のために、決算期ごとに年金資産の積立状況を2つの方法（継続基準、非継続基準）で検証しています。検証の結果、基準値をクリアしていない場合は、積立計画の見直しが必要になります。

継続基準

将来の給付のために保有しておくべき年金資金（責任準備金）が、計画通りに積み立てられているかを検証します。

$$\frac{\text{純資産額}}{\text{責任準備金}} = 1.08 \text{ (基準値：1.0以上)}$$

非継続基準

現時点で基金が解散したと仮定した場合、加入者・受給（権）者の加入期間に応じた給付に必要な資産（最低積立基準額）を保有しているかを検証します。

$$\frac{\text{純資産額}}{\text{最低積立基準額}} = 1.15 \text{ (基準値：1.0以上)}$$

検証結果

継続基準・非継続基準ともに基準値を満たしていますので、掛金率の見なおしは必要ありません。

当基金の資産運用結果のお知らせ

年度前半は概ね好調な資産運用状況でしたが、後半は米国のインフレ率の上昇により金融引締めペースの加速が懸念され株式債券ともに下落いたしました。また、ロシアのウクライナ侵攻により、食料やエネルギー価格が上昇し、貿易やサプライチェーンの混乱などにより世界的にインフレが加速し、景気減速の懸念からさらに下落いたしました。

令和 3 年度の当基金の年金資産運用利回りは 1.82%となりました。

令和 3 年度 委託先運用結果

(令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日)

委託先	期末資産額	シェア	総合収益	修正総合利回り
りそな銀行	27億7,986万円	100%	4,963万円	1.82%
合計	27億7,986万円	100%	4,963万円	1.82%

※総合収益………実際に得られた収益に時価を反映した収益。
※修正総合利回り…運用結果として得られた収益率に時価の変動分を加味した利回り。

令和 3 年度末 資産構成割合

各投資先に資産を配分して、リスク分散を考慮しながら運用しています。

(令和 4 年 3 月 31 日)

国内債券 (11 億 26 万円) 39.6%	国内株式 (3 億 3,192 万円) 11.9%	外国債券 (2 億 3,394 万円) 8.4%	外国株式 (2 億 4,958 万円) 9.0%	その他資産 (7 億 7,039 万円) 27.7%	短期資産 (9,377 万円) 3.4%
-------------------------------	---------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	----------------------------------	----------------------------

運用の基本方針（概要）

運用目的	西日本電気工事企業年金基金（以下「当基金」という。）は、当基金の企業年金規約に規定した年金たる給付および一時金たる給付の支払いを将来にわたり確実にするため、必要とされる総合収益を中期的な下振れリスクなどに留意しつつ、長期的に確保することを運用目的とする。
運用目標	年金財政上の予定利率、運用資産ごとに市場における収益率（以下「ベンチマーク」という。）、および運用資産ごとのベンチマークを資産構成割合に応じて組み合わせた収益率（以下「複合ベンチマーク」という。）を長期的に上回ることを運用目標とする。
資産構成	基本となる投資対象資産の期待リターン、リスク、相関係数を考慮したうえで、基準となる政策的資産構成割合（以下「政策アセットミックス」という。）を（別紙1）の通り定める。 この政策アセットミックスは、当基金の企業年金制度の成熟度および財政状況等を勘案し、中長期的な分散投資の観点から安全かつ効率的なものとなるように策定する。策定に当たっては、内外の経済動向を考慮しなければならない。 オルタナティブ投資（株式や債券等の伝統的な資産以外への投資、またはデリバティブ等伝統的投資手法以外の手法を用いる投資）を行う場合は、別途定める「オルタナティブ投資に係る規程」に基づくものとする。

(別紙 1) 政策的資産構成割合（政策アセットミックス）

資産分類	政策資産構成割合 (%)	乖離許容幅 (%)
国内債券	42	33～51
国内株式	10	1～19
外国債券	7	0～16
外国株式	10	1～19
その他資産	28	23～33
(リスク・コントロール型バランスファンド)	(28)	(23～33)
短期資産	3	0～20
合 計	100%	—

ホームページをご活用ください

当基金のホームページで「年金制度のしくみ」「給付のしくみ」「年金・一時金の手続き」「基金事務のページ」「当基金について」などの情報をご覧ください。

アドレス <http://www.nishinihon-denikikouji-kigyounenkinkikin.jp/>

西日本電気工事企業年金基金

検索



QRコードを読み込むことで西日本電気工事企業年金基金のホームページへアクセスできます。

令和3年度 当基金の業務概況

① 給付の種類ごとの標準的な給付の額及び給付の設計

老齢給付金

◆ 受給資格 ◆

加入者期間 10 年以上かつ 60 歳以上の資格喪失者

◆ 標準的な給付設計 ◆

	年齢(歳)	勤続期間(年)	金額(千円)
年金	60	38	169
一時金	60	38	2,921

※年金：支給期間 20 年の場合の 1 年間年金額

脱退一時金

◆ 受給資格 ◆

加入者期間 3 年以上で資格喪失

◆ 標準的な給付設計 ◆

	年齢(歳)	勤続期間(年)	金額(千円)
一時金	32	10	616

遺族給付金

◆ 受給資格 ◆

年金	なし
一時金	加入者期間 3 年以上で死亡、または、老齢給付金受給者の死亡。

◆ 標準的な給付設計 ◆

年金	なし
一時金	脱退一時金に準じた額

② 事業所数・加入者数及び給付の種類ごとの受給権者数

(令和4年3月31日現在)

◆事業所数◆		202	社
◆加入者数◆		3,008	人
◆受給権者数◆	受給者	659	人
	繰下げ申出者	301	人
	合 計	960	人

③ 給付の種類ごとの給付の支給額その他給付の支給の概況

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

老齢給付金(年金)	659	件	59,141	千円
老齢給付金(一時金)	36	件	47,031	千円
脱退一時金	88	件	43,013	千円
遺族給付金	34	件	21,239	千円
合 計	817	件	170,424	千円

④ 掛金の額、納付時期その他掛金の納付の概況

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

◆ 掛金納付額 ◆	標準掛金	191,295,392	円
	特別掛金	21,738,232	円
	リスク対応掛金	0	円
	特例掛金	0	円
	事務費掛金	29,889,905	円
	合 計	242,923,529	円

◆ 納付時期 ◆

標準掛金・事務費掛金を毎月翌月末までに納付をしています。

標準掛金：	毎月末日現在における加入者標準給与月額合計額×1.6%
特別掛金：	毎月末日現在における加入者給与月額合計×0.2% (令和4年度より設定しておりません。)
リスク対応掛金：	設定しておりません。
特例掛金：	設定しておりません。
事務費掛金：	毎月末日現在における加入者標準給与月額合計額×0.25%

●掛金は全額事業主負担です

●当・基・金・の・現・況●

(令和4年7月31日現在)

設立事業所数

202 社

加入者数

男子 2,411 人

女子 583 人

合計 2,994 人

年金受給者数等

・年金 651 人

・一時金 55 人

(令和4年4月～)

年金資産額(時価)

時価 2,763 百万円